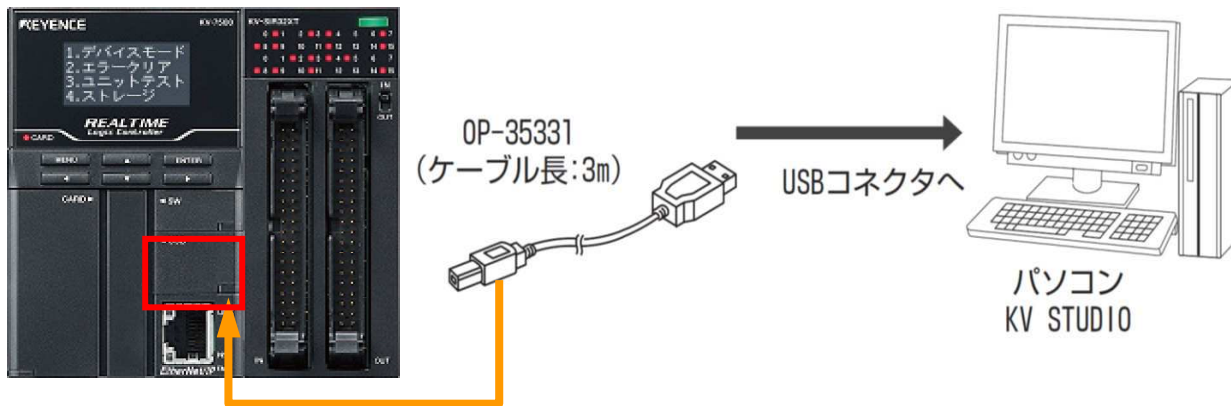


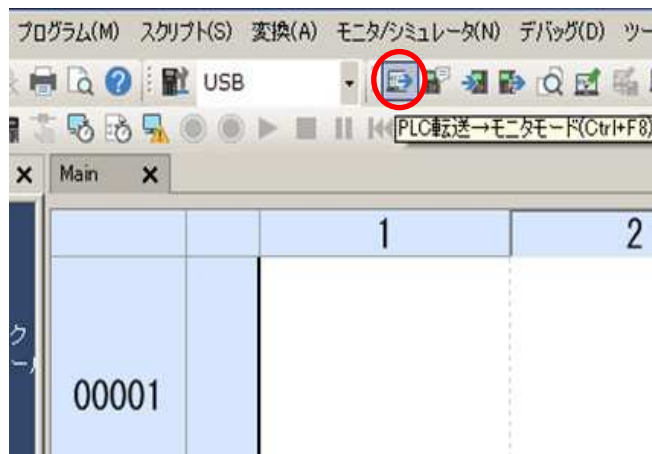
## 2.7. ラダープログラムの転送とモニタ

作成したラダープログラムをKV-7500に転送して、実際の動作を確認します。

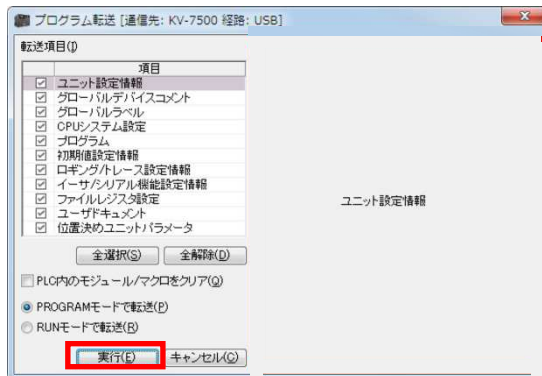
- ① KV-7500とパソコン《KV STUDIO》を接続します。



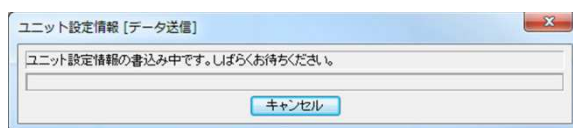
- ② [PLC転送→モニタモード] アイコンをクリックします。



- ③ [プログラム転送]ダイアログが表示されますので、[実行] ボタンをクリックします。

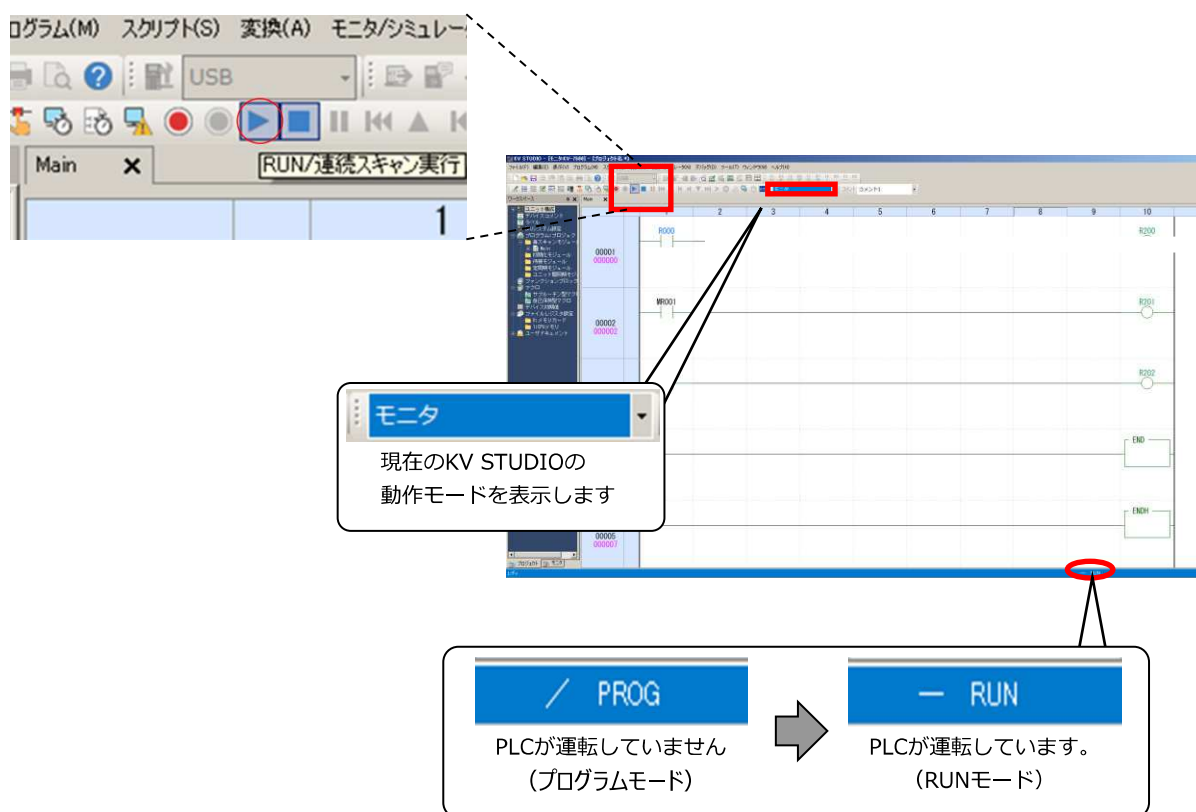


- ④ プログラムの転送が始まります。

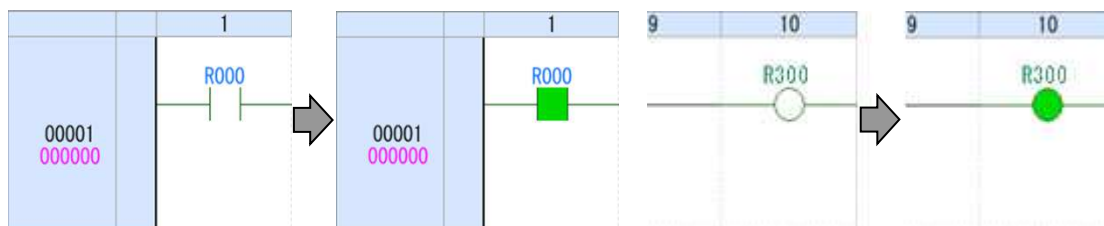


- ⑤ PLCの運転状態の確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

- ⑥ モニタ画面が表示されたら、「RUN」状態であることを確認します。  
画面下部の表示が「RUN」であれば、プログラムが運転しています。  
モニタ中の、「RUN」モードへの切り換えは「RUN/連続スキャン実行」スイッチからもおこなえます。



- ⑦ KV-7500のR000をONすると、ラダー図上の入力R000が緑点灯し、出力R300がON（緑点灯）します。



## ◆各種モードについて

## 【エディタ】

ラダープログラムの編集を行います。

## 【モニタ】

作成したラダープログラムの動作を、PLCと通信して確認します。

## 【オンラインエディット】

モニタ画面上でラダープログラムの編集ができます。編集時はPLCにラダープログラムを転送して編集を反映させてください。

転送はメニューの【モニタ/シミュレータ(N)】→【オンラインエディット転送(F)】でおこないます。

## 【シミュレータ】

作成したラダープログラムの動作を、PLCと接続せずにシミュレートします。

## 【シミュレータエディット】

シミュレータ画面上でラダープログラムの編集ができます。

編集時はメニューの【モニタ/シミュレータ(N)】→【シミュレータエディット転送(Z)】で編集の反映をおこなってください。

## ◆ラダープログラムの読出

KV-7500に転送されているラダープログラムを《KV STUDIO》に読み出します。

操作の前にKV-7500とパソコンを接続し、通信できる状態にしてください。

通信できる状態でメニューから【モニタ/シミュレータ(N)】→【PLC読出(R)】を選択するとラダープログラムを読み出します。

